

図3. S-TiO₂, F-TiO₂, 都市大気粒子, アスベストに暴露したラット肺胞マクロファージにおける *krox-20/egr-2* 遺伝子の発現. 肺胞マクロファージを牛胎児血清を含むRPMI1640培地で20時間前培養した後, 100 $\mu\text{g/ml}$ の各ダストに3時間暴露させた. 全RNAを抽出後, ノーザンハイブリダイゼーション法を用いて *krox-20/egr-2* 遺伝子の発現を定量化した. (N=4)

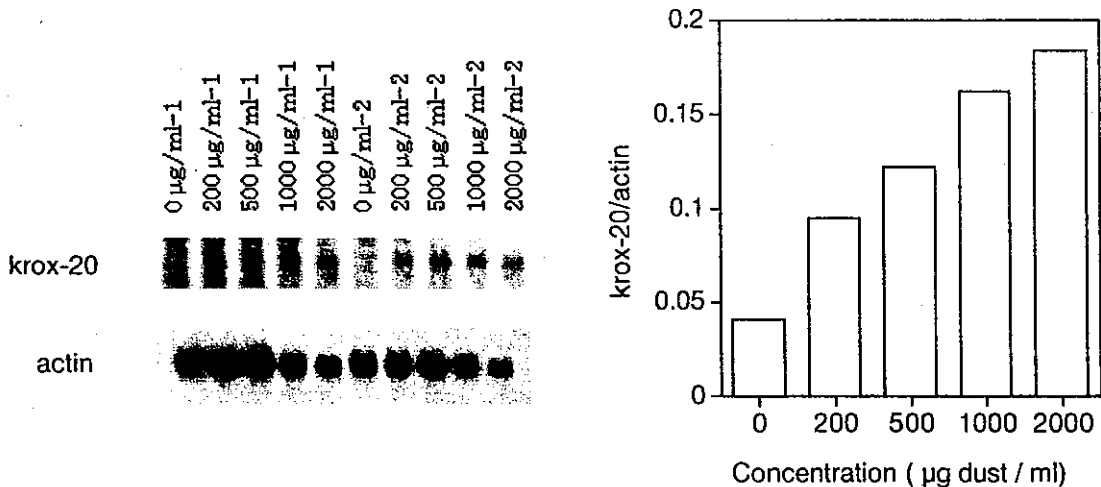


図4. 都市大気粒子に暴露したラット肺胞マクロファージにおける *krox-20/egr-2* 遺伝子の用量依存的発現. 肺胞マクロファージを牛胎児血清を含むRPMI1640培地で20時間前培養した後, 200-2000 $\mu\text{g/ml}$ のダストに3時間暴露させた. 全RNAを抽出後, ノーザンハイブリダイゼーション法を用いて *krox-20/egr-2* 遺伝子の発現を定量化した. (N=2)

$$y = .083 + .004 * x; \quad R^2 = .995$$

吸光度

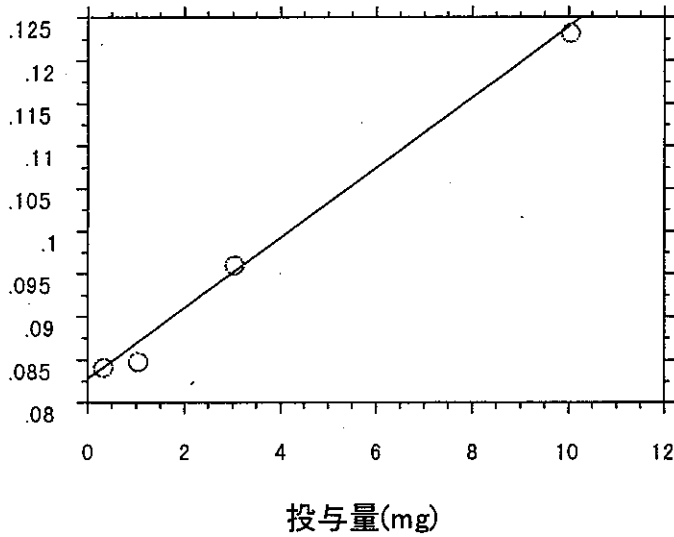


図1. 都市大気微小粒子が皮内血管透過性におよぼす影響.
濃度-反応関係

$$y = .091 + .526 * x; \quad R^2 = .587$$

皮内投与による血管透過性

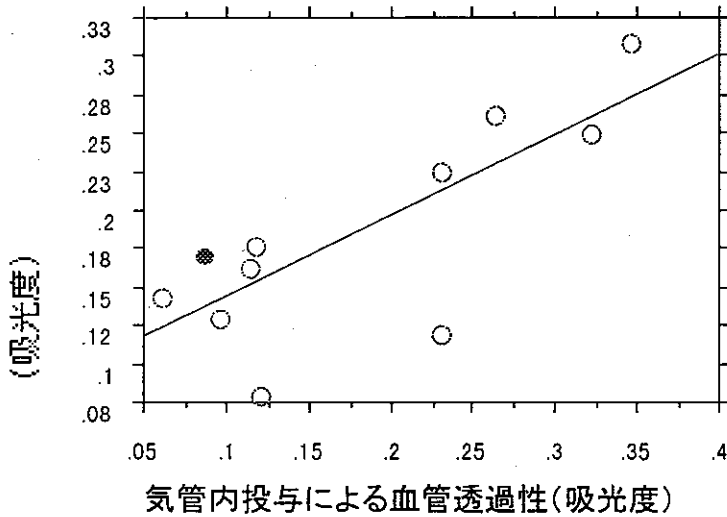


図2. 都市大気微小粒子(●)による皮内および気管内の血管透過性におよぼす影響の相関関係